

新 治 市 民 の 森 た よ り



2025年1月20日 新治市民の森愛護会 第96号

<http://niiharu.la.coocan.jp>

愛護会の皆さん、令和7年（2025年）新年あけましておめでとうございます。
今年は愛護会発足から25年の節目となります、25周年を記念した活動グループ（記念植林、記念グッズ、ホームページ更改）の皆さんには25周年を記念した計画、実施、などの検討を進めて頂いています。発表までお楽しみにしてください。
また、定例活動においては毎回、40名を超える参加頂いて大変感謝しています。参加頂いている皆さんのご意見をお聞きしながら活動を進めていきたいと考えています。
今年も会員の皆さんのご健康を願うと共にみんなで新治の森での活動を通し楽しんで行きたいと思いをします。

新治市民の森愛護会

目次

1. 野田会長・新年の挨拶
2. 梅田川遊水地の生き物調査に参加して
3. 道志水源林保全活動に参加して
4. 25周年記念植樹作業
5. パトロール活動の取りまとめ

新年のご挨拶・野田会長 -

明けましておめでとうございます。

早いもので愛護会の活動も発足以来25年もたちました。戦争中に使い果たしてしまった新治の山の木々も時間とともに復活し、元気を取り戻してきましたが、世の中の移り変わりが早すぎ、再生された森の木々は有効利用される前に利用価値がなくなってしまうしました。そこで利用されないまま大きく成長してしまった樹木は、いままで経験したことのない樹齢に達してしまいました。

戦後、石油化学の普及により木質資源の利用が減り人手による更新がなくなった雑木林は、今まで影を潜めていたナラ枯れ菌が活動を始め、代わりに雑木林更新の手伝いをするような時代となっています。

さて、昨年末は愛護会発足25周年記念行事の一つとして、放置されていた新治市民の森の一部に新治小学校4年生と三保小学校5年生の皆さんや森っ子の子供さんたちに協力してもらい、新治の森で育てたクヌギの苗木を植えてもらい、雑木林の更新を行いました。これで4か所の雑木林の更新地が出来上がりました。

ところで、森林は木質資源の供給地としての価値だけでなく、私たちの生活環境を守る環境資源として大切な社会資本です。私たち愛護会の活動は僅25年ですが、近隣の方々が新治市民の森で自然と触れ合い自然を理解し楽しく散策できるよう、その目的に合った活動をしてきました。

また、67haという大きな新治の森を残してくれた先人たちのおかげで、私たち愛護会のメンバーは毎週楽しく自然と向き合いながら森の手入れをすることができ、結果、健康寿命を延ばし、それが森の整備につながり、近隣の方々が楽しく安全に森を利用することができています。

新治市民の森には木質資源はもとより、様々な環境や空間があり利用できるものは無限に存在しています。既存の概念にとらわれることなく今まで培ってきた知力・体力をフルに発揮し、自分が楽しむのは勿論ですが、それだけではなく、近隣の方々、特に自然から離れてしまった小学生たちを巻き込み楽しみませんか。

今年も安全な作業をしながら森づくりを楽しみましょう。

新治市民の森愛護会会長 野田 重雄

.....

梅田川遊水地の生き物調査に参加して

2024/10/19(土)に、「梅田川遊水地生き物観察会」に参加しました。

そこでは、外来種の駆除を目的に、梅田川遊水地（上の池、下の池）の水を抜いて生き物を捕獲する「捕獲班」と、陸上で生き物の運搬等を行う「陸上班」に分かれて作業しました。

「捕獲班」は小山さんと山口が参加、「陸上班」は当日参加のシュタイナー学園5年生が応援に入りました。

今年は外来種の捕獲が少なかったことから、毎年実施による駆除の効果が出ているものと実感しました。

また、子ども達は生き物の運搬をすることで、普段見ない生き物に触れることができ、楽しかったようでした。

特に、元来この地に生息する「ミズカマキリ」が今回捕獲できたことから、梅田川の生態系保全がなされたことと合わせて、子ども達が、生き物に興味を持つより良い取り組みであったと思います。

観察会の最後には、顧問による講話があり、外来種駆除の重要性や地域の生態系の保全についてのお話を聴きました。

山口 祐二

「梅田川遊水地生き物観察会」2回目の参加です。（前回は2年前）

「陸上班」では、生き物が入ったバケツをプールに持って行くのが楽しかったです。

特に「ミズカマキリ」が一番思い出に残りました。普段見れない生き物を見ることができたからです。

また、前回参加したときより、外来種がだいぶ減っていたのが予想外でした。

次回の観察会も参加したいと思います。

山口 奈於人



生き物調査(下の池)



ミズカマキリ

.....

道志水源林保全活動に参加して

昨年10月の道志水源林保全活動に行ってきました。

5月に入会したばかりで、まだ手ノコギリすら上手く使えない私ですが、愛護会の活動に早く馴染みたい！と思う気持ちで、参加することにしました。

事前のチェーンソー講習を丁寧に教えていただき、最低限の知識だけは備えたのですが、実は私は腕力がなくて大きなチェーンソーのエンジンをかけることができない弱点があり、本当に実践で役に立てるのか？という不安も抱えつつ、道志村へ行く日を迎えました。

道志村水源林は山梨県にあります。キャンプ場や釣り場などが周囲にある自然豊かな場所で、とても気持ち良いところでした。

1日目の午前中に十日市場を出発し、9時台に道志村の森に着くと、すぐに作業が始まる予定でしたが、強い雨で作業中止となり、その日は結局夜まで降り止まず、宿で皆さんとチェーンソーの座学をしたり、道志村温泉に入るだけで終わってしまいました。

2日目は良い天気で、念願の作業を行うことができました。午前中だけで、9人のメンバーで、10本以上の立派な杉の木を切り倒しました。倒す方向を相談してから、全員で協力してロープをかけて倒す方に引っ張ります。切る人は一人ですが、このチームの協力があって安全に作業ができます。切り倒した後、木の枝を全員で払い、丸太を切断して運び、最後まできれいに片付けるまでが一連の作業です。それを何回も繰り返し行いました。

私はベテランの方達にサポートして頂いたおかげで、2本も切らせてもらえました。杉の木が倒れる瞬間の、大きなドーンという音と振動の臨場感には、現場でしか体験できない興奮と楽しさがありました。

一緒に同行したメンバーの方たちと、息を合わせながらの作業や、安全に切り倒せた瞬間の嬉しい気持ちを共有できたことが、とても嬉しかったです。良い体験をさせて頂きありがとうございました。



柏木 佳代子

25周年記念植樹作業

愛護会の設立 25 年になることから何か記念になる事業を行う中の一つに、向山の栗林周辺に記念植樹することが決まりました。それから、約一ヶ月後の 6 月下旬に植樹グループがキックオフし植林地候補の現地調査を行いました。

場所は向山栗林(A 地区)に新治小学校の 4 年生及び森っ子が、向山(B 地区)に 三保小学校の 5 年生が植樹を行うことになった。

事前の準備・作業として、「下草刈り、植樹周囲の枝や枯木等の伐木、発生材の集積場所、測量計測、植樹位置の穴掘りその目安の杭打ち、植樹の間隔、苗木の準備(ポット植と地植え)、交流センター様より提供の培養土(袋詰め)の運搬、植樹の際のペットボトルの水」の現場に配置等、事前に想定される作業項目を工程に反映し、いつの時期にどの作業を行うか見えるようにして、役員会の会議席上、工程表で説明し役員各位にご理解・ご協力を得ることができ、また定例活動日には「植樹作業」を優先的に組み込んだ工程ができました。朝礼時は愛護会員の皆様にも、植樹に関連した作業に協力をお願いしました。

中でも下草刈り作業は真夏の炎天下に刈り払い機で整地を行ってもらいました。11 月中旬には、向山栗林(A 地区)で植樹用の穴掘り作業と並行し向山(B 地区)では、植樹域周辺の伐木を行いその日の定例活動では半数近くの会員の協力をしていただきました。

11 月 29 日(金)は新治小学校の 4 年生約 40 名が植樹を行いました。人数が少なかったことと時間的にも余裕があり、初めての植樹に掛かる時間や対応のやり方などある程度参考になりました。

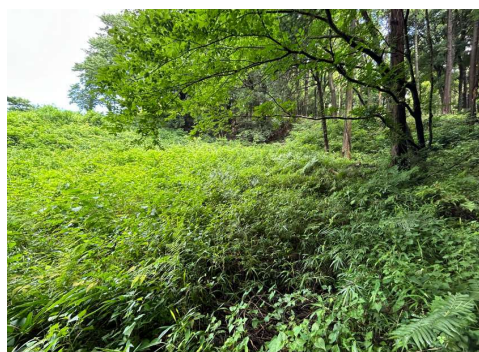
12 月 6 日(金)は三保小学校の 5 年生 150 名、5 クラス(30 名)で 1 クラスの作業時間が約 25 分間で植樹を完了しなければならず、かつ全作業が午前中に終了するとの事で今回の植樹のメイン・イベントと考えていましたが、想定していた以上に進捗状況が良かったことです。それは事前に学校側の先生方と愛護会で打合せを行ってスケジュールのイメージが図れた事があると思います。同日の午後からは、森っ子の子供たちと保護者の方が植樹を行いました。設立 25 周年に「記念植樹」の事業に携われ滅多に無い体験をさせてもらいました。全作業を通じて、怪我や事故も無く無事に完遂したことは良かったことでした。終わりに、役員各位・愛護会員の方々の応援・ご協力があってこそ出来た事と思っています。

この紙面をお借りして皆様に御礼申し上げます。

6 月 現地調査時



向山栗林(A 地域)
新治小学校・森っ子 植樹エリア



向山(B 地域)
三保小学校・植樹エリア

伐木の様子



植樹の様子



植樹前の準備



12月 植樹後（A 地区）



12月 植樹後（B 地区）



パトロール活動の取りまとめ

パトロール報告書の取りまとめをさせて頂いています大潤です。

天候に関係なくほとんどの活動日（土曜・日曜）にパトロールリーダーと共にご参加の皆様いつもお疲れ様です。

また実際には歩かなくても、いつも協力して下さる愛護会会員の皆様ありがとうございます。パトロールは皆様のご協力の上で成り立っております。

パトロールの目的は

- ・園路の安全や安心のためのチェックと応急処置。
- ・定例作業の為の情報をあげること。
- ・園路の周辺の様子や森の状態を見て変化を感じ取る。

事かなと考えています。

皆様はどう思われるでしょうか。

ここ3ヶ月を見ますと10月から11月には雨による影響も多く、水に関する報告が良く上がりました。

E1 付近は常見谷戸から流れて来る水が園路に溢れていることもあり整備を望む声や、外周路などは園路の表土が無くなり粘土質が現れている箇所もあり滑り易いとの報告が有りました。雨後は、谷戸田から竈場の奥にかけてB5-B4、栗林の下のC-1 付近、その他園路の多くで水が道に溢れる箇所が点在しパトロールで水路を確保する作業が行われました。

11 月初めの雨の後はカラカラ天気が続いていますね。

今度はちょうど実ったシラカシのドングリで園路が滑り易くなったほど、大量のドングリが落ちていました。

パトロールの情報で重要な**草刈り**や**危険木**の欄を役員からの要望で報告書に足したのは8月頃でした。

ナラ枯れ被害は一段落しましたが枯木や落木、掛り木など、大木がかなり弱ってきている状況が見受けられます。万一園路で被害があってははいけませんので気を付けて行きたいところです。

場所を分かりやすくするために当該木にテープを付けたり、地図上に直接印を付けたり、現場写真を撮って分かりやすくする、などをお願いしていますが、まだまだ検討の余地もありますのでなるべく皆様からの声もお聞きしながらより分かりやすくしたいと思います。

草刈りについても作業の優先順位を決める判断材料ですので重要な情報です。

どうぞ歩いた道順でかまいませんので道順に沿って今後の予想も交え想像し、**草刈りの要・不要**を記入して頂ければ幸いです。

ゴミについては、だいぶ少なくなったようですが駐車場付近、丸山付近など人の多い所ではまだゴミも多いようです。歩く人の多くなる季節には注意が必要かもしれません。見える所ならまだ良いのですが投げ捨てなど見にくい所にゴミを捨てる方がいるのは困ったことです。

常緑樹が繁茂し周辺の草木に影響しているのではという指摘もありました。シラカシやアオキなどの管理もこれからこの森をどうしたいか？によって変わってくると思います。

皆様で考えて行きたい事の一つですが、パトロールでのその時現在の情報がとても大切な資料になります。なので、森の変化を楽しみながら観て頂きたいのです。

この3か月の参加者の平均数はリーダーを入れて3人です、ちょっと少ないと思いませんか？もう少し多くの方の目と耳と五感を使ってパトロールして頂けないでしょうか？

と言うのが私の願いでもあります。

常見谷戸へ向かう手前の梅林から湧き出る水で以前はいつもジメジメしていた園路、昨年末に横浜市により穴を掘り水の流れを調整する作業をしたばかりです。

これは愛護会からの要望に対して検討処理なされた件の例です。

この作業には竹の供出から土を埋め戻すなどを愛護会も協力して行われました。

このようにパトロールから上がって来た情報を元に何かが変わる事もありますので、どうぞ今後も積極的にご協力頂けますようお願いいたします。



大澗 雅子

.....